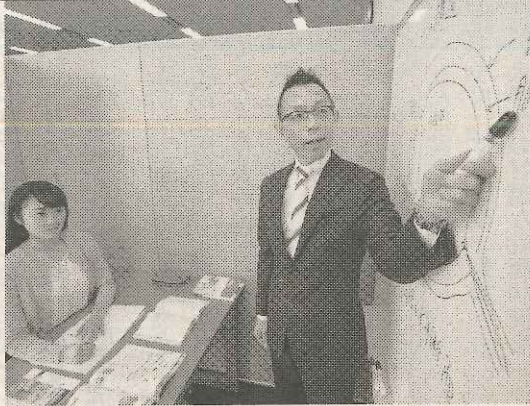


医学部合格者、600人に迫る

医系専門予備校・メディカルラボ、28年度入試合格実績

「わかったつもり」を見逃さず、「わかったふり」を許さず



**実力アップに最適なカリキュラム
担任は生徒の理解者であり相談相手**

近年の医学部、歯学部合格者数を見ると23年度が243人。このあと年度を追って261人(増加率7.4%)、285人(同9.1%)、351人(同23.2%)と順調に増加、27年度は490人(同39.6%)と500人に迫る合格実績を残した。

迎えた28年度、まだ途中経過だが、4月10日現在の合格者は医学部が595人、歯学部が104人で合計699人に達した。

メディカルラボの28年度入試の合格者は医学部・歯学部で699人(4月10日現在)。昨年度の490人を大きく上回り、3年前から顕著になった増加傾向に一段と拍車がかかった。

講師と生徒が1対1で行う個別授業に磨きがかかってきたうえ、生徒の学力に応じて受験校を絞り込む「マッチング方式」の精度が上がった。今年度もさらに生徒の「わかったつもり」を見逃さず、「わかったふり」を許さず、受験生の学力の確実なレベルアップを目指す。

受験戦争を戦い抜くのである。偏差値を上げるために必要なのは「絶対に合格する」という生徒の強い意志。加えて復習を繰り返す持続力がないと過酷な受験戦争は乗り切れない。どんなに実力があっても失敗や挫折は付きまとう。担任は教師であると同時に、生徒の良き理解者であり頼れる相談相手にもなる。そして、講師との真の信頼関係が生徒の厳しい受験生活をサポートする。

**個別授業と受験校のマッチング
絶妙のシナジー効果で合格者が急増**

受験生が1000人いれば学力も100通りだ。記憶力に恵まれた生徒、応用力に優れている生徒、英語は得意だが数学は苦手な生徒。医学部受験は偏差値が高ければ誰でも志望校に合格できるわけではない。

全国にある医学部の入試問題は大学により出題傾向が全く異なっている。この傾向を知らないと偏差値の高い生徒でも失敗することがある。そこが事前にわかれば、受験生にとってはずいぶん鬼に金棒。その逆もある。出題傾向に合う大学を受験すれば、偏差値が合格レベルに達していなくても合格する可能性は高まる。

英語を重視するところ、数学の成績が合否を大きく左右するところ、難問が出題される確率が高い大学など、出

題傾向はさまざまだが生徒の特性に合わせて個別に対応する。

メディカルラボは北海道から九州まで全国に18校展開している。このネットワークをフルに活用して全国の医学部の受験情報を収集し、出題傾向を徹底的に分析する。そして、その結果に基づいて生徒の受験校を絞り込む。これが「マッチング」である。この蓄積された圧倒的なノウハウが生徒の実力にプラスされて合格率が高まる。

個別授業とマッチング。この二つが絶妙のシナジー効果を発揮して、医系専門予備校であるメディカルラボは最難関と言われる医学部合格の鍵をこじあけている。

DXI **メディカルラボ** は、
全国ネットの医系専門予備校です。



全国18校舎を展開

札幌校	仙台校	さいたま校	千葉津田校	東京神奈の水校	東京新宿校
東京立川校	横浜校	名古屋校	金沢校	京橋校	大阪梅田校
大阪なんば校	神戸校	岡山校	広島校	福岡校	熊本校

【問い合わせ先】メディカルラボ本部
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-6-17 名古屋ビルディング
TEL 052-551-2108